

山形大学大学院教育実践研究科 第5回 合同ゼミナール 学ぶのプラットフォーム 学びから教育を問い続ける

対面・オンライン
ハイブリッド開催



第1回in置賜 8月4日(木)

13時15分～16時45分
「できる」とはどういうことか

会場：山形大学米沢キャンパス百周年記念会館
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)

第2回in庄内 8月10日(水)

13時15分～16時45分
「考える」とはどういうことか

会場：山形大学鶴岡キャンパス1号館会議室
担当教員：森田智幸(山形大学准教授)



第3回in小白川 12月18日(日)

13時15分～16時45分
「遊ぶ」ということの意味

会場：山形大学小白川キャンパス
基盤教育2号館221

担当教員：森田智幸
(山形大学准教授)

助言・話題提供：佐伯 胖 氏
(東京大学名誉教授)



主催

山形大学大学院
教育実践研究科



後援

山形県教育委員会



これまでのあゆみは
こちらからご覧ください。

企画の趣旨

山形大学大学院教育実践研究科では、平成27年度から、広く市民とともに地域の学びについて考える場を創出することを目的として、高校生と大学生、社会人による合同ゼミナールを行ってきました。

そもそも学ぶとはどのようなことなのでしょう。あなたならどのように答えますか。このゼミでは、この問いに対する答えを共に探究します。

方法は、共通する文献を読み、議論するというシンプルなものです。

学びのフォーラムでは、大学での学びを体験することはもちろん、教師を目指す大学生や現役教師の生の声を聴くことができます。

今年度は、置賜地区、庄内地区ではじめて開催します。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。

申込方法

◆参加費は無料です。

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、対面参加に限り、各回について以下の通りの定員を設定します。

第1回in置賜 25名

第2回in庄内 50名

第3回in小白川 100名

締切:7月31日(日)

締切:7月31日(日)

締切:12月11日(日)

締切前でも、定員に達した場合は、その時点で対面の受付を締め切ります。

オンライン参加の定員は設けません。対面受付締切後もオンラインの申込みは可能です。

◆新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、対面での開催を中止し、オンラインのみの開催となる場合があります。

◆参加を希望する方は、右記申し込み用QRコード、または、申し込み用URLより「申し込みページ」にアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。各回申し込みページが異なりますので注意してください。

◆オンライン参加を希望される方には、後日、入力していただいたメールアドレス宛に参加方法をお知らせします。

申し込み用ページはこちら



<https://www2.e.yamagata-u.ac.jp/info/4609639>

問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス事務部総務課(地域教育文化学部担当)

E-mail: yu-kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL: 023(628)4304

※土、日曜日の電話は繋がりません。メールにてご連絡ください。

※お問い合わせの際は、「氏名、所属」を必ず明記してください。

※@jm.kj.yamagata-u.ac.jpからのメールを受信できるように設定をお願いします。

当日について

●各回、12時から受付を開始します。

●お車でお越しの際は、以下の通りご利用ください。

米沢キャンパス:工学部百周年記念会館側の駐車場

鶴岡キャンパス:体育館・テニスコート側の駐車場

小白川キャンパス:基盤教育1号館北側駐車場(11時50分から12時30分までに限ってゲートを開放します。)

※駐車場のスペースには限りがあります。あらかじめご了承ください。

●服装は自由です。

●使用するテキストはこちらで用意します。昨年度までに本企画に参加したことがある方はテキストを持参してください。

●新型コロナウイルス感染症対策のため、受付時に、当日朝の体温と体調について申告していただきます。また、手指を消毒してマスク着用の上、教室に入ってください。上記について同意していただけない場合は、参加をご遠慮いただくことがあります。

●オンライン会場はZoomを使用します。Zoomアプリのダウンロードや、通信環境の確認等、前日までに参加者各自でご準備ください。通信料金の負担等を含め、主催者が対応することはできません。